

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成23年10月28日(金) 5校時
児童 1年1組 男15名 女8名 計23名
指導者 小野寺 邦子(北松園小学校)

「読むこと」の指導事項

オ 文章の内容と自分の経験と結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。
カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

この単元で身に付けたい力

- ・ 読んだ本について感想をもち、好きなところを紹介する力
- ・ 昔話の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりする力

- 1 単元名 むかしばなしをたのしもう
教材名 むかしばなしがいっぱい

2 児童と単元について

(1) 単元について

本単元は、「文章の内容と自分の経験と結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと」(読むこと オ)「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと」(読むこと カ)「昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること」(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア))をねらいとする。

本教材「むかしばなしがいっぱい」は、子ども達が様々な昔話に触れることができるように構成されている。語り継がれてきた昔話には、勇気や知恵等、込められた思いがある。課題にぶつかりながらそれを解決したり機転をきかせて自分の運命を切り開き成長していったりする話もある。子ども達は、昔話の世界の中で様々なことを学んだり想像したりすることができる。

教材として日本の昔話と外国の昔話に出てくる登場人物が多く盛り込まれたカラーの絵は、子ども達のお話への興味を引きつける。知っている昔話は、学習への親しみにつながり、未知なる昔話は、これからの学習の意欲へとつなげることができる。昔話は、主人公がはっきりしており場面の移り変わりも分かりやすく、あらすじがとらえやすい。また、繰り返しの言葉や場面が描かれているものが多く、お話のおもしろさも分かりやすい。子ども達が、感想をもつのに無理がなく、好きなところを紹介する上で内容としても構成としても適した教材であると考えられる。この学習を通して、これまでの読書記録を見直したり読書計画をたてたりすることも学び、読書生活をより豊かにしていく一助としたい。

(2) 児童について

子ども達は「読むこと」の学習「おむすびころりん」や「おおきなかぶ」で、歌やかかげえのリズムのおもしろさを感じ、意欲的に音読した。挿絵と対応させながらあらすじをとらえたり、場面の様子を想像したりしながら読み取ることもできた。大事な言葉や挿絵に目を向け、様子を想像する力も徐々に付いてきている。

絵本の読み聞かせが好きな子ども達であり、読書にも意欲的で、易しい読み物に興味をもって読むようになってきている。しかし、内容をとらえながら自力で1冊の本を読み終えたり、読んだ感想や自分の好きなところを想像やわけを加えて自分の言葉で表したりする力は、まだ十分とは言えない。好きなところや感じたことを自分の言葉で表し、伝える力を育てていきたい。

(3) 指導にあたって

子ども達が興味をもちながら昔話を楽しみ、自分の好きなところを紹介することができるように、次のように進めていきたい。

昔話の読み聞かせを多く取り入れる。昔話の読み聞かせを聞き、昔話のおもしろさを丸ごと感じ取ることができるようにしたい。昔話を楽しみ、おもしろいと感じることが、昔話への興味を増し、子ども自らの昔話の読書へとつながっていくと考える。その際、たくさんある昔話の中から、教科書に紹介されている「桃太郎」「花さかじいさん」「かちかち山」「舌切り

すずめ」「猿かに合戦」「浦島太郎」「金太郎」「ぶんぶく茶釜」「ねずみの相撲」と「一寸法師」の計 10 話は、読み聞かせをして子ども達に昔話の世界を共有させたい。

昔話を聞いたり読んだりして、子ども達が「ここが好き」と思ったところを大切に、学習活動に位置付けていきたい。子ども達が自分の好きなところを紹介するということは、昔話を主体的に読むことになり学習意欲にもつながるからである。

子ども達が、昔話の好きなところを紹介する活動として、「一枚紙芝居」を作成する。昔話の好きなところを一枚の絵に表し、好きなところ、好きなわけを紹介し合う。また、絵に表した好きなところについて本の一部を音読し、読む側も聞く側も昔話の楽しさをより感じることができるようになりたい。絵で表す際、思うように表現できない子どもには、本の挿絵等を参考にすることで、一枚紙芝居作成の目的に到達できるようにする。

学習を進めていくにあたり、習得したことが活用につながっていくようにしたい。第三次で児童一人一人が選んだ昔話について「一枚紙芝居」を作成し紹介し合うわけであるが、好きなところ、好きなわけを話す学習、「一枚紙芝居」に表す学習、紹介し合う学習を段階的に進め、第三次の学習に活用されていくようにしたい。

尚、本単元は、2 学年の「スーホの白い馬」「いなばの白うさぎ」「三まいのおふだ」につながっていく学習内容である。

3 単元の目標

- (1) 昔話に興味をもって読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりすることを楽しもうとする。
【国語への関心・意欲・態度】
- (2) 昔話の好きなところを友だちに紹介することができる。
【読むこと オ】
- (3) 昔話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりすることができる。
【読むこと カ】
- (4) 昔話を聞いたり読んだりして親しみ、好きなところを友だちに紹介することができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)】

4 学習指導計画及び評価規準 (6 時間)

過程	学習内容と 主な学習活動	評価規準<評価方法>			言語活動を通 して考える 力を育成す る活動
		国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語について の知識・理解・ 技能	
第一 次 1 時間	挿絵にどんな昔話があるか探しながら、昔話を読むことへの意欲をもつ。 ・簡単な感想をもつ。 1 時間	・挿絵の登場人物について思ったことを伝えようとしている。 <発言>	・感想を話している。 <発言・学習プリント>	・昔話の題名と挿絵について理解したことを発表している。 <発言>	・感想を発表する活動
第二 次 2 時間	「浦島太郎」「桃太郎」の読み聞かせを聞き、好きなところを発表する。 ・好きなところ、好きなわけを話す。 ・一枚紙芝居に表す。 1 時間	・好きなところを伝えようとしている。 <発言・学習プリント>	・好きなところについて感想をもちながら読んでいる。 <発言・学習プリント>	・内容を理解し好きなところを発表している。 <発言>	・感想をもつ活動 ・紹介する内容を書き表す活動
	好きなところを紹介する。 ・好きなところ、好きなわけを話す。 1 時間	・好きなところを紹介し合おうとしている。 <発表・学習プリント>	・好きなところについて感想をもちながら読んでいる。 <発言・学習プリント>	・好きなところを理解しながら聞いている。 <発言>	・感想をもつ活動 ・紹介する活動

第三次 3時間	好きなところを見つけながら昔話を読む。 ・好きなところ,好きなわけを話す。 ・一枚紙芝居に表す。 1時間	・昔話を進んで読もうとしている。 <観察・学習プリント>	・好きなところについて感想をもちながら読んでいる。 <発言・学習プリント>	・内容を理解し好きなところを発表している。 <発言>	・感想をもつ活動 ・紹介する内容を書き表す活動
	昔話の好きなところを紹介し合う。 ・好きなところ,好きなわけを話す。 日本の昔話の学習のまとめをする。 ・学習しての感想を話す。 1時間(本時)	・好きなところが伝わるように紹介しようとしている。 <観察・学習プリント>	・好きなところに感想をもちながら聞いている。 <発言・学習プリント>	・好きなところが伝わるように紹介している。 <観察・発言>	・感想をもつ活動。 ・紹介する活動
	好きなところを見つけながら世界の昔話を読む。 ・好きなところ,好きなわけを話す。 ・「おとえほん」を聞き,感想をもつ。 1時間	・世界の昔話を進んで読もうとしている。 <観察>	・好きなところについて感想をもちながら読んでいる。 <発言・学習プリント>	・内容を理解し好きなところを発表している。 <発言>	・感想をもつ活動

5 本時の指導

(1) ねらい

<国語への関心・意欲・態度>

・昔話に興味をもって友だちの好きなところを聞こうとする。

<読む能力>

・昔話の好きなところを紹介することができる。昔話の学習について感想をもつことができる。

<言語についての知識・理解・技能>

・好きなところ,好きなわけを話したり,音読したりできる。

(2) 具体の評価規準

観点別評価目標	A(十分満足できる)	B(概ね満足できる)	C(支援の手立て)
友だちの紹介に興味をもって聞こうとする。	話す人や一枚紙芝居を見て,反応しながら聞いたり感想を伝えたりしている。	一枚紙芝居を見て,反応しながら聞いている。	一枚紙芝居の絵は何を表しているか聞くように話す。
好きなところを紹介することができる。	好きなところ,好きなわけを具体的に紹介したり,気持ちを込めて好きなところを音読したりできる。	好きなところ,好きなわけを書いたものをもとに紹介したり,好きなところを音読したりできる。	好きなところ,好きなわけを書いたものを見て紹介する。

(3) 「考える力」の育成のための手立て

【考える力の育成にかかわる身に付けさせたい力】

・昔話の好きなところを紹介する力

【考える力を育成するための言語活動】

・昔話の好きなところを紹介する活動(好きなところを話す,好きなわけを話す,好きなところの音読をする)

(4) 展開

過程	学習内容・学習活動 (発問 指示)	時間	指導上の留意点・評価 (・留意点 評価)
導入	1 前時の学習を想起する。 2 本時のめあてをつかむ。 昔話の好きなところをしょうかいし合おう。	3	<ul style="list-style-type: none"> 好きな昔話を紹介するため、一枚紙芝居を作ったことを想起する。
展開	3 昔話の好きなところを紹介し合う。 (1) 自分の紹介する昔話を出し合う。 みんなが紹介する昔話の題名は、何ですか。 (2) 紹介の練習をする。 紹介の仕方を確認する。 練習をする。	2 3	<ul style="list-style-type: none"> たくさんある昔話の中から一つ選んだ話について聞き合える楽しさにふれ、紹介し合う活動への意欲につなげる。 「好きなところはどこか」「どうして好きなのか」を伝えること、好きなところを読んで教えることを確認する。
	(3) ペアで昔話を紹介する。 お友達は、お話のどこが好きなのでしょうか。 聞きながら、昔話をいっしょに楽しみましよう。	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> わたしは、「一寸法師」という昔話をしょうかいます。 わたしが好きなところは、一寸法師が大きくなるところです。お姫様が打ち出の小槌をうつと、一寸法師は大きくなります。 どうしてそこが好きかという、小さな一寸法師が、打ち出の小槌で大きくなって不思議だからです。 一寸法師が大きくなるところを読みます。 </div> <p>一枚紙芝居をもとに、昔話の好きなところを紹介しているか。</p>
	4 みんなで聞き合う。 友達に紹介してもらって、どんな感想をもちましたか。	12	<ul style="list-style-type: none"> 紹介し合った昔話について、どんなことを思ったか感想を聞き合う。 ペアで紹介し合った昔話を全体に紹介する場を設け、昔話の楽しさを共有できるようにしたい。
終末	5 単元の学習のまとめをする。 (1) 日本の昔話の学習をふり返る。 (2) 昔話の学習をしての感想を書く。	13	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物や出来事等の内容について、読んだ昔話について、「一枚紙芝居」を紹介し合ったことについて等、これまでの学習をふり返る。 ふり返ったことをもとに、楽しかったことや心に残ったことを書く。

	<p>(3) 感想を聞き合う。</p> <p>6 世界の昔話を読む。</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の感想を大事に受け止めながら、日本の昔話の学習のまとめとする。 ・教科書の挿絵を位置付け、世界の昔話を紹介し、世界の昔話を読むことへの意欲を高める。 ・世界の昔話を用意しておき、読みたい昔話を自由に読む。
--	----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 板書計画

<p>にほん</p> <p>（日本の昔話）</p>	<p>教科書にあるとじ込みを拡大したもの</p>	<p>むかしばなしの べんきょうをし ておもったこと</p>	<p>教科書にあるとじ込みを 拡大したもの （世界の昔話）</p>	<p>せかい</p>
---------------------------	--------------------------	----------------------------------------	-------------------------------------------	------------

むかしばなしがいっぱい

むかしばなしのすきなところをしょうかいしあおう。

・すきなところは、どこかな。

・どうして、そこがすきなのかな。

・すきなところをこえにだしてよもう。